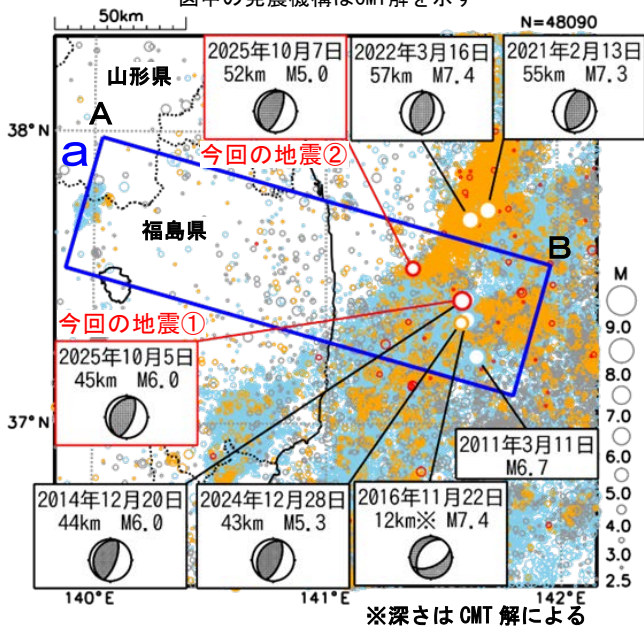


10月5日、7日 福島県沖の地震

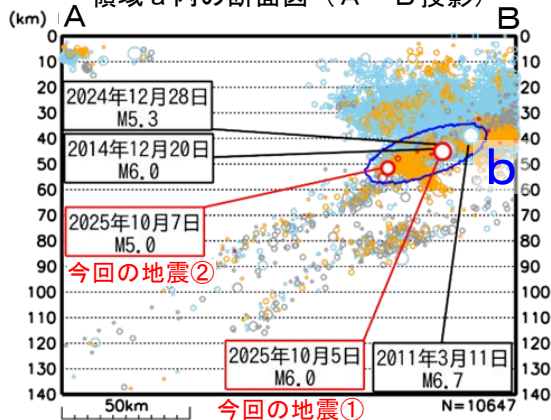
震央分布図

(1997年10月1日～2025年10月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)

- 1997年10月1日～2011年2月28日
 - 2011年3月1日～2020年8月31日
 - 2020年9月1日～2025年9月30日
 - 2025年10月1日以降～
- 図中の発震機構はCMT解を示す



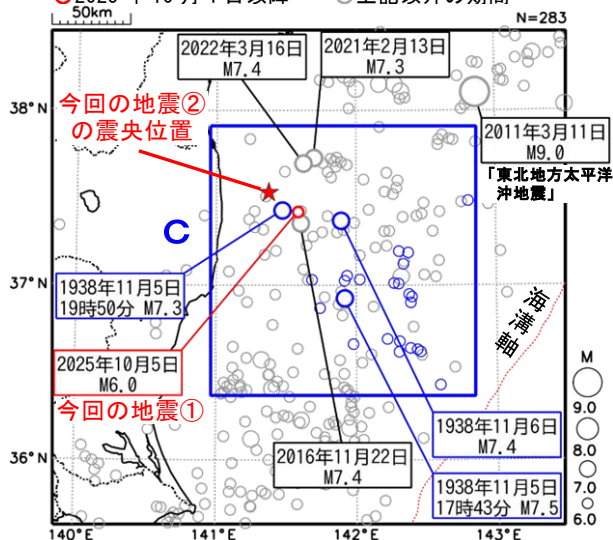
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2025年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

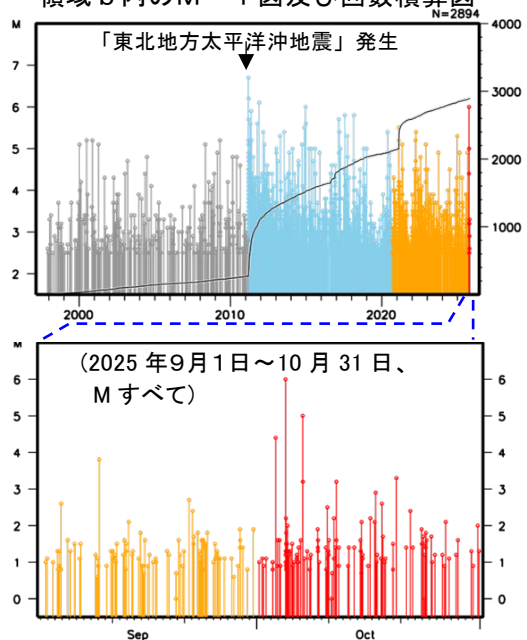
- 1938年11月1日～1938年11月30日
- 2025年10月1日以降～
- 上記以外の期間



2025年10月5日00時21分に福島県沖の深さ45kmでM6.0の地震(図中①)、7日09時30分に深さ52kmでM5.0の地震(図中②)(ともに最大震度4)が発生した。これらの地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生前はM5程度の地震が時々発生していた。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震活動が活発となり、M5.0以上の地震がしばしば発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震(最大震度5)が発生し、宮城県花巻で113cm(全振幅)の津波を観測した。この地震後約1ヶ月間にM6.0以上の地震が増加するなど、地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図

